



国土交通  
大臣賞



川とともに生きるまち  
**shimanto**  
四万十市

三山ひろし氏「四万十川」の歌碑  
(演奏装置)

交流拠点 岩間四万十茶屋  
(物販、イベント開催)  
岩間四万十茶屋

チャリティーTシャツとタオル販売  
(地元商工会)

道路分野

## 清流四万十川の景観、文化、日常を構成する 岩間沈下橋を後世に残す活動

### 取組概要

四国最長196kmを誇る四万十川は流域が国の「重要文化的景観」として選定、その構成要素として沈下橋が大自然に溶け込む風景が広がる。そのうち最も美しいとされる岩間沈下橋は、2017年11月に橋脚が沈下し路面がV字に陥没した。早期復旧を望む地域住民やサポーターから寄付金等を募り、メンテナンス事業に活用。また、地域住民が主体となり、交流活動拠点「岩間四万十茶屋」を整備、川とともに生きる文化の継承と景観や環境を守る活動を行っている。

### 受賞理由

地域住民が主体となってインフラの現状やメンテナンスの取組の発信などに取り組んでいるところが画期的であり、維持費確保の取組や持続可能な仕組みの構築を進めている。また、インフラ（沈下橋）の景観保全により観光資源として地域活性化につなげるとともに、異分野（音楽業界）と地域住民の連携で広くインフラメンテナンスの重要性を周知していることが評価された。

### 取組のポイント

- 清流四万十川の景観に配慮した工法（橋脚:当て板工法）により、近景でも補修跡が分からないよう工夫した。
- 地域住民が主体となり、四万十川と岩間沈下橋の風景が一番に展望できる空間づくり、駐車場整備を実施。これを拠点とし沈下橋を後世に残すために活動することで、インフラメンテナンスへの関心と意識の向上につなげている。
- 紅白歌手の三山ひろし氏（本市観光大使）が歌う「四万十川」の演奏装置と歌碑を設置しPRすることで、多くの方に現状を知っていただき、インフラメンテナンスの重要性を発信できた。

### 受賞者について



#### 受賞者

四万十市役所  
四万十市長 中平 正宏  
岩間部落会(区長) 今城 照喜 (関係団体)  
四万十市西土佐商工会青年部長 中脇 夢之進(川)  
四万十市 第二副市長 森山 崇  
産業建設課 渡辺 昌彦/島 輝充/山崎 剛/垣内 邦仁

#### コメント

この度は国土交通大臣賞という大変に名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この取組みは行政だけでなく岩間沈下橋を愛する地域や全国サポーターをはじめ関係者の皆様が協力し、その思いが形となったものです。

今後も「川とともに生きるまち」として、生活道の機能確保と沈下橋が四万十川の大自然に溶け込む美しい風景を守り継承するため、地域と連携しながら日常管理とメンテナンスを支える活動に取り組んでいきます。

#### 団体概要

団体名：四万十市  
所在地：本庁）高知県四万十市中村大橋通4-10  
支所）高知県四万十市西土佐江川崎2445-2

#### 問い合わせ先

四万十市 西土佐総合支所 産業建設課  
0880-52-1114  
n-doboku@city.shimanto.lg.jp